

吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会（第２回）
議事要旨

【会議名】

吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会（第２回）

【開催日時】

令和７年９月２６日（金）午前９時半から午前１２時まで

【開催場所】

吹田市総合防災センター７階 土木部会議室１

【次第】

- １ 開会
- ２ 議事
 - ・ 書類審査
 - ・ プレゼンテーション及びヒアリング審査
 - ・ 答申
- ３ その他

【配布資料】

- 資料１ 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定指針に基づく応募書類
の要件審査結果
- 資料２ 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者応募書類（副）
- 資料３ 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表
- 参考資料 指定管理者募集要項
管理運営業務基準
事務処理基準
指定管理者候補者選定指針

【出席委員】※順不同、敬称略

- 委員長：川口将武（大阪産業大学 建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学
科 教授）
- 副委員長：大藪崇司（兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 教授）
- 委員：田中晃代（近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 環境・まちづくり系専
攻教授）

委員：樋上啓子（兵庫県立大学 緑環境景観マネジメント研究科 講師）

委員：木下敦史（木下税理士事務所 税理士）

【会議の公開・非公開】

非公開（吹田市情報公開条例第7条第2号及び第4号に該当するため）

【傍聴者の数】

—

【発言の要旨】

1 開 会

事務局

定刻となりましたので、只今から、第2回吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会を開催いたします。

委員の皆様方には、6月24日の第1回選定委員会におきまして、募集要項と選定指針に係る御審議をいただき、誠にありがとうございました。

本日の選定委員会では、書類審査、プレゼンテーション及びヒアリング審査を行い、指定管理者候補者を選定いただき、答申をいただきたく存じますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議につきまして、過半数の委員の御出席により成立していることを報告します。会議に先立ちまして、資料の御確認をお願いします。

それでは、委員長に、選定委員会の進行をよろしくお願いいたします。

委員長

それでは議事に入りたいと思います。まず「議事（1）書類審査」について、事務局から報告してください。

【事務局より公募手続きの経過を説明】

委員長

選定方法及び審査の流れの確認について、事務局から説明してください。

【事務局より選定方法及び審査の流れを説明】

委員長

質問等がありますか。

委員

これは例えばある項目でBと評価をつけた際には、Bの評価点に該当する1.6点と記

載したらよいですか。

事務局

ご認識のとおりです。

2 議 事

(1) 書類審査

委員長

それでは、「議事（１）書類審査」を行います。あらかじめ応募書類に目をとおしていただいていると思いますので、これから意見交換を行います。応募書類で気になったことや質問したいことを言ってもらえたらと思います。

委員

事業計画書の p 7 に「やさしい空間づくり」や「訪れた方がほっと一息つけるようなみどりに囲まれた快適な空間を提供」とあるが、具体的にどのような取組みを行うのか聞いてみたいと思います。どのような方をターゲットにして連れてくるのかといったところも気になります。

委員

今回はこれまでに運営方針から、利用者世代に加え、多世代へとありますので、ここにもつながってくるのかなと思います。

委員

そうですね、そのあたりも含めて聞きたいです。

委員

先ほども他の委員が言われたとおり、次のステップに行くために、多世代に向けてみどりの興味・関心を広げることが目標となっていますが、これまでにどのような背景・課題があって、この目標に至ったのか聞いてみたいと思いました。

委員

資料として事業計画書の p 2 にこれまでの取組みの経過については、記載されていますが、この取組みの結果を踏まえてどうなったかということですよね。

委員

そうです、これまでの取組みについてはわかるのですが、その取組みを経てどのような課題が出て、事業計画書の目標につながったのかが見えてこないです。

委員

そうですね。そのあたりについても、ヒアリングで聞いてもらえたらと思います。

委員

細かい取組みについては、事業計画書に記載されていますが、1 年を通しての流れ、5 年を通しての流れが分かりにくいので、このあたりも補足で説明していただきたいと思います。

委員

1年間や5年間の具体的な流れに加えて、目標をより具体的に教えてもらいたいですね。

委員

その観点では、事業計画書 p 2 に記載している施設設置目的である「市民の緑化意識の高揚に資する」等について、これまでの実績をもとに、どのようにこれらの目的を実現していくのかということも聞きたい点ですね。p 1 2 には「生成 AI などの技術を活用」とありますが、このあたりともつながってくるのかという点についても気になります。

委員

事業計画書の p 3 2 に、情報センター全体の管理目標について記載しているため、こともつながると思います。

委員

事業計画書の p 2 9 に記載している財務状況について、この応募者は継続で収入も安定しており、資金もあることから、財務的には問題ないと思います。ただ応募者の決算時期が毎年9月末であることから、書類上で直近1年間の決算報告書が出ておらず、ここ1年間の経済状況の変化が大きい背景から、直近1年間も財政面で問題がないか確認したいと思います。

委員長

各委員の皆様、意見ありがとうございました。以上で、書類審査による1回目の評価を終わります。評価点数表の1回目の評価点を「資料3：吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表」に記入してください。

【各委員点数記入】

(2) プレゼンテーション及びヒアリング審査

委員長

それでは、「議事（2）プレゼンテーション及びヒアリング審査」に移ります。

進行は事務局からお願いします。

事務局

応募者は15分以内でプレゼンテーションを行い、その後質疑応答を20～30分程度行います。ヒアリング終了後、2回目の評価を「資料3：吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表」に記入してください。

では、応募者に入室していただきます。

（応募者入室）

事務局

それでは、事業計画について、プレゼンテーションをお願いします。

【応募者によるプレゼンテーション】

事務局

これからヒアリングを行います。

それでは委員の皆様よろしくお願いします。

委員長

プレゼンテーションありがとうございました。それでは各委員から質問等お願いします。

委員

3点ほど質問させていただきます。事業計画書 p4に「多世代へ向けてみどりへの興味関心を広げる」とあり、これまでの施設利用者は高齢者が多いことから、それ以外の世代へ広げるという認識だと思うのですが、具体的にどの世代に向けて取組みを行う予定ですか。

応募者①

現在の施設利用者は、70代から80代の方々がほとんどですが、今後は30代から40代の親子向け世代をターゲットとして取組んでいきたいと思っています。取組みとしては、現在でも一部行っていますが、乳幼児連れの親子で参加できる公園散歩イベントを考えており、これまでに無かったイベントを開催する予定です。また、そのようなイベント内容に生物多様性も加えて行えたらと考えています。

委員

ありがとうございます。関連する内容で事業計画書 p12に「若年層の園芸相談件数（50代以下）が年々上昇している」とありますが、このような背景についても何か考察されていることはありますか。

応募者①

園芸相談件数については、質問いただいた同ページに記載していますように、コロナ禍以降増加傾向にあり、在宅ワークが増えたことから、自分の家にみどりを取り入れる人が多くなったと考えており、個人的には30代から40代の男性からの相談件数が多い印象があります。最近では、植物男子というキーワードもあり、さらに若年層である10代から20代の自宅で、インテリアとして植物を育てている男性、いわゆる植物男子も増えてきていると感じています。

委員

その傾向は重要と考えていて、なかなか施設利用が難しい10代から40代までの男性をターゲットにした取組みを行っても良いかもしれませんね。

また事業計画書 p10に、ホームページや広報誌の発行で「親しみやすいデザインと

表現を心がけながら」とありますが、具体的にどのようなデザインや表現を考えていますか。例えば漢字を使わない表現を行うといったことがあると思いますが、どうですか。

応募者①

インスタグラムを中心とした SNS を利用し、SNS 映えするキャッチーな写真や、子どもがイベントを楽しんでいるような、女性目線を意識した写真を、積極的に使用していけたらと考えています。

委員

ありがとうございます。最後の質問となりますが、事業計画書 p 2 5 の今後の取組みについて、「子育て支援と連動した親子向け自然体験プログラム」とありますが、具体的にどのようなものか教えていただけますでしょうか。

応募者①

先ほど回答させていただいた内容と被るところがありますが、乳幼児連れの親子向けで参加できる公園の散歩イベントを考えています。イベントを行う場所については、ベビーカーを利用しながら参加可能な公園をしています。

委員

ベビーカーを利用しながら参加できることは重要で、公園のバリアフリー化とも関連していることから、イベントを通じて公園のバリアフリーに関するアクセス情報などを提供できるのではと思います。以上です。

委員長

ありがとうございました、それでは次の委員よろしくをお願いします。

委員

プレゼンテーションありがとうございました。大変楽しい取組みが記載されており、その内容について詳しく聞かせてもらえたらと思います。事業計画書では、「多世代」や「生物多様性」といった言葉がキーワードとなっていると思います。事業計画書 p 4、p 1 4、p 1 6 に「生物多様性を市民活動に取り入れる」といった内容が記載されていますが、具体的にどのような取組みを考えていますか。

応募者①

これまでの取組みでは、植物に特化した内容でしたが、講師に自然観察指導員の方をお招きして、野鳥も含めた生態系の紹介もしていただこうと考えています。

委員

自然観察イベントに自然観察指導員を招くということは、現在でも行っているのでしょうか。

応募者①

現在、そのような取組みは行っておりません。当社で管理している他市の公園で、実施している事例があり、参加者からも好評なため、ぜひ吹田市でも取組めたらと考えています。

委員

吹田市以外で、実績があるということですね。

応募者①

そうです。

委員

わかりました。次に、事業計画書 p 2 0 に「出張相談及び指導」について記載されていますが、具体的にどれくらいの回数を行うのか示されていないため、教えていただけますでしょうか。

応募者①

出張相談につきましては、現在も行っており、年間 1 2 回程度を予定しています。開催場所については、当該施設に固定ではなく、市民の方々に施設周知も含めて、公園などの施設以外も考えています。

委員

ありがとうございます。事業計画書 p 1 2 に、施設利用者からのニーズを施設管理システムに蓄積しており、今後生成 AI 等を活用し、利用者満足度の向上につなげるという記載がされていますが、具体的に過去にそのような実績がある、またはどのように生かし今後 5 年間の指定管理につなげていこうと考えておられますか。

応募者①

事業計画書に記載している現在の園芸相談件数のデータ集約等については、手作業で行っている部分があるため、AI を利用していきながら、分析していきたいと考えています。

先ほど回答させていただいた内容と被るのですが、社会情勢によって、みどりに対する関心が変わっていくことが予測されるため、そのようなことも含めて分析し、指定管理につなげていくことを目標としています。

また現在、第 3 者モニタリングにていただいた意見をもとに、Z 世代にも参加してもらえるようなイベントを実施しており、今後 AI による分析を活用することによって、第 3 者モニタリングにて、「指定管理者からこのようなデータが出ている」と示すことができるのではと考えています。

委員

ありがとうございます。最後の質問になりますが、すいたの街の木プロジェクトで、ボランティア団体協力のもと、吹田市の公園樹木を見て回る、見る目を養うといったイベントがありますが、実際に倒木といった事故を未然に防げたといったことはありますか。

応募者①

協力いただいているボランティア団体の方々が、事前にルートを念入りに確認しており、危険箇所等について報告いただいています。またイベント参加者も関心が高い方が

多いため、危険個所を事前に見つけるといったことが広がっているのではと思っています。

委員

ありがとうございました、私からは以上となります。

委員

それでは質問させていただきます。事業計画書 p29 の財務状況に関することで、財政基盤が安定しており、事業資産も十分と思うのですが、決算期の関係上、直近の決算報告書が令和6年9月となっています。今月末が決算期で決算報告書が提出されると思うので、直近の決算の見通しについて教えていただけますでしょうか。ここ1年間で円安が進み、景気の動向が激しいため、分かる範囲で結構ですのでお願いします。

応募者①

現在整理中ですが、前年度と比べて微増の見通しとなっていることから、問題ないと思いますが、これから物価上昇や人件費高騰の影響が出てくると考えられるため、今後の課題となると思います。

委員

ありがとうございます。次の質問で、財務状況の文言について「借入金グループ企業から調達していること等から、支払能力及び経営の安定性も良好なものと判断できます。」とありますが、この借入金をグループ企業から調達ということは、ここ3年で行われていることですか、それともずっと前から行われていたのですか。

応募者①

グループ企業の親会社から、会計を連結することとなり、ここ3年になると思います。

委員

わかりました、ありがとうございました。

委員

それでは質問させていただきます。事業計画書 p18 で、はなみどガーデンセミナーについて、宿根草などを用いたローメンテナンス型の植栽を推奨する取組みの中に、「使用済み園芸土の再利用・改良による廃棄物削減の提案」と記載がありますが、これは市民の方から出た園芸土を回収し、再利用するというイメージでよろしいでしょうか。

応募者①

はい、そういったことも検討しています。どなたからでも園芸土を回収するということは難しいと思いますので、まずは、はなみどガーデンセミナーの参加者から回収するといった取組みから始めていきたいと考えています。

委員

わかりました。次に指定管理5年間や各1年間の流れを詳しく聞きたいと思っています。例えば指定管理期間が5年間ありますので、1年目はここに力を入れる、2年目にはここに力を入れるといった内容を教えていただけますでしょうか。

応募者①

前回の第3者モニタリングでの施設利用を多世代へという意見を受けて、すでに動き始めておりますが、まだ大きな軸として弱いと感じていますので、1年目には施設利用を多世代へということに注力し、多くの方に施設の存在を知っていただくことが重要と考えています。5年後には、親子向けのイベントが浸透していけば良いと思っています。

また、現在指定管理をしていて、市民の方にまだまだ周知できていない部分も感じていますので、5年後には市民に施設の存在が浸透していくことを目標としています。

委員

今後親子向けイベントの実施回数が増える、または開催場所が広がっていくかもしれないということでしょうか。

応募者①

先ほども申し上げた通り、人件費高騰等がありますので、イベント数を増やすといったことは難しいと思いますが、広報の仕方や施設をもっと活用していただくために、現地イベントを行っていきたいと考えています。合わせて施設の場所も周知していく必要があると感じています。

様々な広報をしていて、現在言えることが施設の利用者も代替わりしていくということで、その瞬間は施設の存在を知っている世代も、その後には抜けてしまうこともあるため、常に多世代へ向けた情報発信が必要であると思います。

委員

ありがとうございました。

委員

それでは質問させていただきます。5年後の目標を事業推進スケジュールに、具体的な数値を合わせて記載していますが、その目標値の根拠を教えてください。またその数値は、現在でも十分に達成可能な数値なのか、それともさらに頑張って達成できる数値なのかについても聞きたいです。

応募者①

目標数値については、過去の実績値に基づき、近い値で設定しています。すいた街の木プロジェクトにおける講座・ガイドの年間参加者数150人以上という点につきましては、前回よりは減らしています。理由としましては、近年の夏場の気温が高く、参加者も高齢者が多いことから、夏場の開催を避けることが挙げられます。

活動支援についても、近年公園利用が盛んになってきており、コロナ禍が明けたということもありますが、各団体さんが自主的に公園利用をされていますので、活動支援については施設として役割を終えたという認識を持っており、実現可能な数値を記載させていただいています。

委員

現在の状況を見ながら、設定しているということですね。

応募者①

そうですね。

委員

役目を終えた箇所の現状維持と、次にどこに力を入れていくかということですね。

応募者①

今回はこのような形で提案させていただいていますが、今の世の中の動きは非常に早くなっていますので、限られたリソースの中で指定管理業務を行っていく必要があるため、力を入れていく箇所はこの5年間の中でも変わっていくのではと考えています。

委員

数字的な部分はわかりました。一方で定性的なところで、多世代へ向けて、親子を新規のターゲットに入れてというところで、先ほどお話いただいた施設の知名度を上げるという点や、満足度を上げるということ点をどのように行っていくのかということが課題となってくると思いますが、どのように考えていますか。

応募者①

先ほども少し生物多様性のところで話がありましたが、どのようにしてベンチマークを置くのかというところで、悩んでいます。やはり質の向上が求められるため、利用者満足度の向上があげられると思うのですが、正直なところ利用者満足度は高くなることは当たり前と考えていて、これまで関心がなかった人がどれくらい来たのか、関わってきたのかというところのリサーチ方法をどうしたらよいか明確な答えが持てていないのですが、探りながらこの課題にチャレンジしていけたらと思います。

委員

またプレゼンの最初のところで、施設の設置方針に地域経済の振興とありましたが、みどりでどのように地域経済の振興を図っていくのか、チャレンジしていこうかと考えていますか。

応募者①

難しい質問ですね。先ほど、今までみどりに関心がなかった人へ広げていくという話があったと思いますが、実際にイベントを行った佐井寺南が丘公園では、子育て世代が多く、中にはみどりを育ててみたかった人もおり、施設に足を運ぶ人もいました。そこで施設内で販売している園芸用品に興味を持っていただき、買っていただくことになれば、地域経済の活性化にもつながっていくのではないかと考えています。

また花とみどりのフェアにおいては、これまでも多くの参加者と出店があったということで、公園を使っていくという流れができてきているのかなと思いますので、そのような点でも吹田市さんとうまく連携していけば、地域経済の活性化につながるのではないかなと思います。

委員

園芸相談のセミナーといった多くの講座も行っているのかなと思いますが、

その活動は一つのコンテンツであるように感じています。違う公園では、公園ができるまでのワークショップを記録として撮影し、その動画を HP 上にアップロードして、有料視聴としている事例があります。このような事例からも、園芸相談に来た人だけではなく、その過程を動画にすることで、一つのコンテンツとして成り立つのではと思っています。

応募者①

そうですね、収益事業につなげられるのかと思います。

委員

最後に、施設長が変わられていることから、こういうところを変えて、新しい色を出しているといった点があれば、教えていただけますでしょうか。

応募者①

前期から多世代へ向けた発信を向けて、素敵な広報等も実施しましたが、女性目線で考えています。特に SNS の発信の仕方についても、きれいな写真にこだわっています。これまでの方針に加えて、親子向けのイベントも積極的に行っており、「どうやったらはなみどで働くことができるの」といった質問をする子がいて、関心を持ってくれる人が増えたかなと思いますので、そのような世代へ向けて活動していけたらと思います。

会社としても、ジョブローテーションが大事かなと思っています。このような施設、公園を複数管理しており、所属長が固定されると安定はするのですが、やはりどうしてもマンネリ化につながっていくので、複数の公園で色々な経験をしている者を、一定周期で回していくことを考えています。

以前は県立公園の所長をしていて、そこで子育てに強いという実績を培ってきたので、このような実績や経験を活かしていきたいと思います。

委員長

わかりました、ありがとうございます。その他質問ありますでしょうか。

委員

事業計画書の 3 ページ目に情報収集及び提供ということで、はなみど PAPER やホームページ、SNS と記載があります。実際のはなみど PAPER の発行部数や、HP はわかりませんが、インスタであればフォロワー数 1 4 2 2 人、フェイスブックではフォロワー数 3 6 2 人と今後のリソースの集中をどのように考えておられるのか教えていただけますか。

応募者①

はなみど PAPER については、発行部数ではないですが、年間 2 回発行しております。このたびペーパーレス化の流れもありますので、発信の方法はインターネットを中心に切り替えた方がよいと思っています。

またインスタグラムについても、おそらく今後違うものに変わっていくだろうと想像していますが、フォロワー数については少しずつ伸びてきていることから、基本的には

インスタグラムに注力して、ホームページについてももう少し見やすくできたらなと考えています。実際には、すいたの広報誌が強いということがありますが、その年齢層は少し高くなりがちですので、ターゲット層と合わせてこれからの SNS の活用を考えていけたらと思います。

委員

ターゲット層によって媒体が変わってくると思いますので、この5年間に整理していただいて、効果的、あるいはもっと広くフォロワー数を増やすような形で活動されたいと思います。

応募者①

ありがとうございます。

委員長

ありがとうございました。

事務局

以上で、プレゼンテーション及びヒアリング審査を終わります。

応募者の方、ご苦勞様でした。退室していただいて結構です。

それでは、評価について委員長よろしく願いいたします。

委員長

委員の皆様には、2回目の評価について、「資料3：吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表」に評価点数を記入してください。

記入後、事務局は評価点数表をいったん回収し、この後の委員間討論用の資料を作成してください。記入が終わった委員から、休憩をお取りください。

【休憩】

委員長

委員会を再開します。

委員の皆様の2回目の評価点数を集計した資料をもとに、委員間討論を行います。

この資料について、事務局から説明してください。

【事務局より委員間討論用資料を説明】

委員長

この討論終了後、最終評価点として、3回目の評価点を「資料3：吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表」に記入する流れとなりますが、各委員で大きく点数にばらつきがないようにと思いますが、各委員で気になる箇所や点数を変更する方はいますか。なければ2回目の評価点を3回目の評価点として、よろしいで

しょうか。

【各委員異議なし】

委員長

それではこの点数を最終評価点とさせていただきます、ありがとうございました。

各委員から講評をいただきます。選定を通じての感想や指定管理者候補者に対して今後期待することなど、一言ずつ述べていただければと存じます。

委員

では私から、今回応募団体が1団体でこの点数ということで、無難にこなしてくれそうな企業という印象です。目標と内容をもう少し頑張ってもらいたいかなというところもあり、目標に達するための手法なりを少し考えていただければと思うのですが、今までされてきていることもあり、やり方が決まっていって変えることが難しい部分もあるかと思っています。5年間で、新たな取り組みを行ってもらえたらと思います。お疲れ様でした。

委員長

ありがとうございました。

委員

財務関係の話ですが、先を見通して色々考えたうえで、さらに安定させた財政基盤を運営されているため、指定管理をお任せするにはいい会社だと思います。これから公共施設を運営する面からも、この調子を維持してもらえればと思います。

委員長

ありがとうございます。

委員

全体的にふわっとした目標設定が多い印象を受けて、具体的な提案については、少し物足りなく感じる部分があったため、低めの点数になったかと思っています。ただ母体の会社がしっかりしていच्छやることと、組織自体は少人数で機動力があるため、臨機応変な対応が可能で、お任せして大丈夫と思いました。

またパンフレットについても、若い人に興味を持っていただけるようなデザインになっていて、このまま頑張ってもらえたらと思います。

委員長

ありがとうございました。

委員

提案書を読んだだけでは、点数が60点と低かったのですが、それはなぜかというところと、ほわっとした表現が多く、「多世代へ向けて」といったような言葉など、もう少しニーズ分析とそれに関連してどういう層をターゲットにするかというところが、ほわっとした感じになったのは、ちゃんと分析できていない印象を受けました。AIとか気候変動や物価高騰が多いといった最近の事象の説明はあったのですが、そこのエビデンスが結局

明確にならず、目標値についてもちょっとずれていたことが、ほわっとした企画書になってしまった原因かなと思います。

しかしプレゼンテーション及びヒアリングにて、そこについてお話しくださって、例えば20代、30代の若い男性の嗜好とかそういう話があったので、それを数値に反映できていればいいのですが、そのような定性的な分析はされていたので、それでよいかなと思います。

副次効果もたくさんあると考えていて、高齢者を対象としたものは福祉的な意味合いもあり、子育ては教育の部分もある、健康づくりも含めて、みどりの効果は色々なところで検証されていると思います。吹田は、泉北もそうですが、非常に公共空間、公園そういったものを豊かに配置しているという点もあったりして、そこを町として評価していくと、もう少しいろいろな世代を、公共空間を使って展開していく必要性があると感じています。特に、市民協働は、点数を悩んだところで、ターゲット層に全然届いていない情報もたくさんあると思うので、そこは次のステップでどのように伝えていくか分析、考察を深めていただければと思います。以上です。

委員長

ありがとうございました。

委員

今まで指定管理をしていた経験があり、さらにどう展開していくかということでは、かなり安定してきている印象があります。一方で先ほどもお話があったとおり、安定しすぎて、変化がなくなってしまうと、何か新しいことを生み出せないといった課題も出てくると思います。今回は新たに生物多様性といったキーワードが出てきて、それに伴い新しい取り組み行うということが出てきていますが、変えたらいけないところと変えていくところを考えていってもらえたらと思います。財政基盤についても安定していて、人材もいらっしゃるため、お任せして大丈夫だと思います。以上です。

委員長

各委員ありがとうございました。講評の取り扱いにつきましては、答申書の別紙として位置づけます。時間の都合上、別紙の内容につきましては、事務局で取りまとめた後、各委員に確認させていただきますが、委員長に一任としていただいてよろしいでしょうか。

【各委員異議なし】

(3) 答申

委員長

それでは「答申」に入ります。応募者①の名称を事務局から報告してください。

事務局

株式会社 日比谷アメニス です。

委員長

それでは株式会社 日比谷アメニス を指定管理者候補者として選定します。各委員
よろしいでしょうか。

【各委員異議なし】

委員長

以上を以って、選定委員会の答申といたします。委員の皆様、ご審議ありがとうございました。
今後の流れなど、事務局から説明してください。

委員長

答申を受け、市として指定管理者候補者と決定、11月定例会での議決を経て、年明
けに正式に指定します。

審査結果は、候補者に通知後、10月中旬頃に市のHP上に講評する予定です。公表
内容は、委員名と評価点数が結びつく形で公表しませんが、委員名簿、議事要旨、最終
評価点集計表は公表し、事前に委員の皆様には内容をお示しいたします。

本日の資料につきましては、すべて回収させていただきます。

閉会にあたりまして、本選定委員会の事務局であります、土木部長からお礼を申し上
げます。

【土木部長お礼】

委員長

委員会はこれで終了します。ありがとうございました。